

千葉大学医学部附属病院と医療連携強化に向けた医療連携協定を締結します！ ～市立青葉病院への入院・転院受入促進による地域医療の充実・強化～

千葉市と千葉大学医学部附属病院は、地域医療の充実・強化に寄与することを目的とした「医療連携協定」を締結しますので、お知らせします。

また、同協定の締結式を行いますので、併せてお知らせします。

1 協定締結の目的

千葉大学医学部附属病院は高度先進医療の機能を担い、市立青葉病院は地域医療支援病院として地域医療や救急医療を支えています。本協定は、機能の異なる医療機関が互いに近接している利点を生かし、さらなる医療連携を強めることにより、限られた医療資源を有効に活用し、地域医療の充実・強化を図ることを目的として締結するものです。

2 連携事項

- (1) 千葉大学医学部附属病院で受け入れた患者の市立青葉病院への入院・転院受入促進
- (2) (1) の実施に必要な情報提供・診療支援
- (3) その他協定の目的達成に必要な事項

※一部の診療科から連携を開始し、将来的に連携する診療科を拡充する方針

3 協定締結式

- (1) 日時

令和7年5月8日（木）14：45～15：15

- (2) 場所

市役所高層棟4階 幹部会議室

- (3) 出席者

千葉大学医学部附属病院長	おおとり せいじ 様 大鳥 精司 様
千葉大学医学部附属病院副病院長	なかだ たかあき 様 中田 孝明 様
千葉大学医学部附属病院副病院長	おやまだ りょうじ 様 小山田 享史 様
千葉市長	神谷 俊一
千葉市病院事業管理者	山本 恭平
千葉市立青葉病院長	六角 智之

＜参考＞千葉大学医学部附属病院について

1 所在地

千葉市中央区亥鼻 1－8－1

2 病床数

846床（一般800床、精神41床、感染症5床）

3 特徴

救命救急センター、特定機能病院、紹介受診重点医療機関、医育機関、基幹型臨床研修病院、地域がん診療連携拠点病院、全県対応型小児医療連携拠点病院、地域災害拠点病院

4 病院の歴史

千葉大学病院の創設は明治7年（1874年）に、千葉、寒川、登戸の有志の拠金によって、千葉町に共立病院が設立されました。

明治9年（1876年）に公立千葉病院となり、明治15年（1882年）に改組され県立千葉医学校および附属病院となりました。

大正12年（1923年）には、官立千葉医科大学附属病院となり、昭和24年（1949年）に新制国立総合大学として千葉大学が発足し、千葉医科大学は千葉大学医学部となり、附属病院が現在の千葉大学医学部附属病院となりました。

また、昭和52年（1977年）12月に新病院を竣工し、平成16年（2004年）4月に国立大学法人法の施行により国立大学法人へ移行しました。

近年では、令和3年（2021年）1月に新しい中央診療棟がオープンし、令和6年（2024年）7月に創立150周年を迎えました。

問い合わせ先

【協定締結に関すること】

病院局経営企画課 電話 245－5675

【青葉病院に関すること】

病院局市立青葉病院 電話 227－1131